

平成23年度 ICT利用による教育改善研究発表会 受賞者決定

1. 本発表会の趣旨

本発表会は、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT活用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的として、平成5年より実施している。優れた発表に対しては論文誌「ICT活用教育方法研究」に掲載するとともに、文部科学大臣賞（最優秀賞）や私立大学情報教育協会賞（優秀賞）を授与し、その教育業績を顕彰する。

本発表会は今年度で18回目となり、これまでに文部科学大臣賞4件、協会賞30件、奨励賞40件、佳作4点を顕彰してきた。なお、本発表会では毎年度、文部科学省の後援と文部科学大臣賞の交付が認められている。

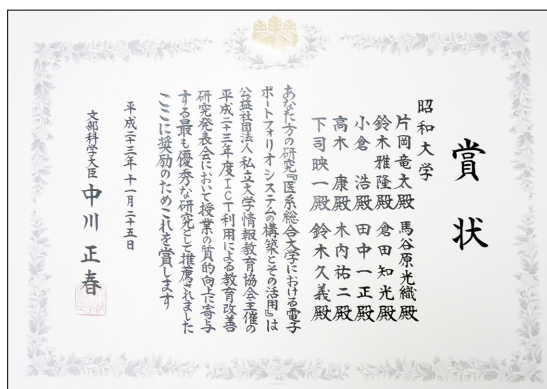
2. 選考方法および結果

今年度のICT利用による教育改善研究発表会は、平成23年8月10日に東京理科大学九段校舎で開催し、人文、社会、理工、情報、医歯薬、家政系の分野から48件の発表があった。選考は、「教育上の問題解決を図るために、ICT利用による教育改善の目的・目標が明瞭になっていること」「ICTを利用した教育改善の内容と方法が明瞭になっていること」「客観的かつ具体的な成果により、教育改善の目的・目標が達成されたことが示されていること」「本発表会で過去に授賞している場合、その当時の研究発表からさらなる発展性が見られること」を基準に行い、授賞選考委員会により8件の研究を選考した。その後、10月8日に行った2次選考の結果、「文部科学大臣賞」1件、「私立大学情報教育協会」1件の授賞が決定した。



表彰式は、平成23年11月25日に本協会の第2回臨時総会の冒頭に行い、文部科学省高等教育局専門教育課の内藤敏也課長による来賓挨拶、ICT利用教育改善発表会運営委員会の直井英雄担当理事による発表会の概要説明、東村高良運営委員長による本年度結果報告の後、内藤課長による文部科学大臣賞の賞状の授与、本協会の向殿政男会長による私立大学情報教育協会賞の表彰楯の授与を行った。

受賞者は次の通り。



平成23年度 ICT利用による教育改善研究発表会 受賞者

文部科学大臣賞（最優秀賞）

医系総合大学における電子ポートフォリオシステムの構築とその活用



昭和大
片岡 竜太



昭和大
馬谷原光織



昭和大
鈴木 雅隆



昭和大
倉田 知光



昭和大
小倉 浩



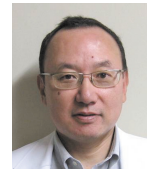
昭和大
田中 一正



昭和大
高木 康



昭和大
木内 祐二



昭和大
下司 映一



昭和大
鈴木 久義

< 授賞理由 >

本研究は、医療人として欠かせない基礎的能力を確実に身につけさせるため、電子ポートフォリオを駆使して振り返りを行わせ、不足している能力を大学全体で支援する仕組みを構築した取り組みである。システムに「目標書き」、「フィードバック」、「ふりかえりシート」、「成長報告書」の機能を設けることで、学生の習熟度に応じたきめ細かな指導を行い、達成感の獲得、自己評価能力の向上、医療人としての将来像と現状把握など、教育の質保証に大いに貢献しており、歯学部以外に全学的な取り組みまで展開している点でも高く評価できる。また、職業観の醸成、卒後のキャリア形成など他の教育分野でも広く応用できる教育学習支援のシステムとして意義が大きい。

私立大学情報教育協会賞（優秀賞）

バーチャルスライド導入による病理学実習カリキュラムの刷新と学習効果



日本歯科大学
佐藤かおり



日本歯科大学
島津 徳人



日本歯科大学
添野 雄一



日本歯科大学
藤田 和也



日本歯科大学
田谷 雄二



日本歯科大学
青葉 孝昭

< 授賞理由 >

本研究は、病理学の実習において組織や病理に関心を持たせながら、分析・解釈・判断する実践的能力を高めることを目的に、組織標本を高画質で記録したバーチャルスライド教材を導入した取り組みで、実習内容を従来の病変観察・整理から、病理診断・質疑応答・レポート作成へと刷新し、教育効果を上げている点で評価できる。